令和３年度

ほけん妙高

No. 17

妙高市学校保健会

妙高市教育研究会

養護教諭・栄養教諭・栄養士部会

目　　次

第１部　妙高市学校保健会

□　あいさつ　…… 1

「パンデミックとしての虫歯」

副　会　長　　横尾　宗一

□　活動報告、保健・食関係の表彰　…… 2

□　健康・食教育に寄せて　…… 3

「糖質とカフェイン」　学校内科医　岸本　秀文

「病気予防・早期発見・早期治療」　学校歯科医　谷口　伸張

「妙高市のフッ化物洗口の歩み」　学校薬剤師　吉澤　光弘

「私の子育てで守ってきたこと」　校　長　石﨑　隆

「笑顔のために」　保健主事　金子謙太郎

「妙高市教育研究会　養護教諭部会の取組」　養護教諭　土屋　史子

□　学校保健会「健康習慣づくり講座」　…… 6

□　我が校の実践　…… 8

１　妙高高原北小学校

「たくましい身体と基本的な生活習慣を身につける子の育成」

２　新井小学校

「めあてに向かって自分自身を鍛える子をめざして」

□　会員名簿　…… 10

第２部　保健統計（令和３年度）

□　年齢別体位　…… 11

□　学年別肥満傾向　…… 12

□　児童生徒疾病異常一覧　…… 15

□　学年別裸眼視力　…… 16

□　歯科保健　…… 18

【　表紙絵　　妙高高原北小学校　２年　富村　優芽　】

（令和３年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール　県銀賞入賞作品）

（敬称略）

令和３年度

妙 高 市 学 校 保 健 会

新井南小学校　６年　清水　ひより

（令和３年度歯科保健図画･ポスター･標語コンクール入賞作品）

標語の部

令和３年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール入賞作品

「自分の歯　未来のために　守ろうよ」　※標語の部県佳作入賞

新井小学校　６年　内記　莉央

「歯っ歯っ歯っと笑うため　歯みがき・うがいで　ピッカピカ」

妙高高原北小学校　６年　後藤　ゆいか

「むし歯０（ゼロ）　歯垢も０（ゼロ）で　きれい〇（まる）」

斐太北小学校　６年　滋田　玲彩

あいさつ

パンデミックとしての虫歯

妙高市学校保健会　　副会長　　横尾　宗一

コロナ禍に見舞われてから昨今、良く目にする言葉が増えた。その中の一つにパンデミックが有る。感染症/伝染病の世界的大流行と言う意味で場合によっては感染爆発などとも表現する。

パンデミック Pandemic とはギリシャ語の pan すべて+demos 人々から成る。全人類が罹る可能性を持つ世界的大流行と言えば、古くは黒死病と恐れられたペスト、100 年ほど前のスペイン風邪など挙げられる。スペイン風邪は全人類の 1/3 が罹ったと言われる。2022 年の 1 月初めで新型コロナ感染者の累計が 3 億人近く＝3/77＝3.9%なので罹患率から言えば 10 倍近い。

このスペイン風邪をも超える数の感染症が有る。それは虫歯である。全人類の 34%が未処置の虫歯を持っていると推測される。治してない虫歯でこの数だ。処置歯を含めればその数は数十倍にも膨れ上がる筈だ。まさに<すべての・人＝pan・demic＞が罹る病気と呼ぶに値する。

エジプトのミイラにも虫歯の痕跡が発見されたり、唐の詩人白居易が「頭痛と歯の疼きで三日臥した」と書き残したりして、虫歯はとんでもなく古くから人類を苦しめて来た。累計患者数では歯周病と並んで最も多い部類に入る。現在までに産まれた人類の総数は或る計算によると 1080 億人と言われている。そのうち、虫歯に全く縁の無かった人は何人だっただろうか。ともかく凄い数字だ。

マスクで息苦しく口呼吸に成りがち、また人と会話する機会が減って唾液分泌が減少。ステイホームで家に居る事に慣れ過ぎて外に出る事自体が億劫になる。他人と対面しなくなるので自分の口腔衛生状態に無関心になる。感染を恐れる事やコロナ不況により治療費が気になるなどで歯科医院受診を控える。これらの要素が相まって以前より虫歯が増え、「コロナ虫歯」などとも呼ばれる。これはコロナ感染症による弊害の一つとも見なし得る。

新型コロナ感染症の予防対策をしっかり行うのは当然だが、もう一つのパンデミックである虫歯や歯周病の予防や治療も充分にするように今一度努める事も肝要だろう。

新井中央小学校　２年　小林　希実

（令和３年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール入賞作品）

活動報告

1　活動の基本方針

（1）幼児・児童・生徒の健康の保持増進のために一層の研究を深め、保健主事や養護教諭の活動について援助する。

（2）学校内科医・学校歯科医・学校薬剤師と密接な連絡をとり、保健活動の推進を図る。

2　事業の概要

（1）第１回理事会　　※新型コロナウイルス感染症対策として、書面会議

①平成２年度会務並びに決算報告

②令和３年度事業計画並びに予算審議

③令和３年度県学校保健優良校並びに学校保健功労者の推薦

④保健講演会案

（2）歯科保健図画・ポスター・標語コンクール参加

（3）妙高市学校保健会総会　　※新型コロナウイルス感染症対策として、書面会議

（4）第２回理事会　　１１月２日（火）　新井小学校

①事業報告

②「ほけん妙高」編集計画審議

③学校保健会講演会中止と今後の事業について審議

（5）歯科保健図画・ポスターの展示「妙高市ジュニア芸術展」(11/3～/9 妙高高原メッセ)

（6）健康習慣づくり講座　　１月１８日（火）　新井小学校

「元気いっぱい　未来かがやく　妙高っ子」

～体を動かして、健康習慣づくりを学ぼう！～

講師　スポーツメディア株式会社　ほっとアリーナ妙高高原　　北口賢太郎　様

駒村　鮎実　様

（7）「ほけん妙高」第１７号の発行

（妙高市教育研究会　養護教諭・栄養教諭・栄養士部会との共同事業）

保健・食関係の表彰

1　新潟県学校保健会表彰　　１０月２７日（水）　新潟県医師会館

学校保健功労者	新井中学校　学校医	丸山　明則　様
学校保健優良校	保健教育部門	妙高高原北小学校
	保健管理部門	新井小学校

健康・食教育に寄せて

「糖質とカフェイン」

学校内科医　　岸本　秀文

疲れた時に飲むコーヒーと一緒に食べる“かりん糖”やチョコレートは良く合い、この上なくおいしい。この組み合わせ、糖質とカフェインの過剰摂取について、ここでもう一度考えてみよう。

砂糖は人類が古くから求めて止まない御馳走だ。菓子類や清涼飲料水には砂糖類や人工甘味料が多量に含まれている。スポーツ飲料500ml で3g スティックシュガー10 本分、炭酸ジュース500ml で20 本の糖分が含まれている。糖尿病の人だけでなく健康人も多量に摂ると弊害が出る。ペットボトル症候群とかグルコーススパイクという言葉を聞いたことがあるかもしれない。前者は清涼飲料水を水やお茶代わりに飲み続けると、血糖が上がり、尿が増え、脱水になり、更に口渇感が増し、飲み続けるという悪循環で、遂には意識障害まで出現して救急搬送に至る。後者は血糖の急上昇急降下が糖の棘の様に働き、内臓や脳、血管に障害を与えることをいう。

一方、カフェインも多くの飲料やチョコレートなどに含まれている。代表格はコーヒーだが、最近ではエナジードリンクやサプリメント製剤が出回る。カフェイン含量はコーヒー100ml で60 ㎎、栄養ドリンク1本で50 ㎎、エナジードリンク1本で32 ㎎から300 ㎎だ。摂取限度量は健康成人で1日300 ㎎から400 ㎎、子供は7-9 才で62.5 ㎎、10-12 才で85 ㎎と少ない。過剰摂取では嘔気や嘔吐、不穏や興奮、動悸や震えが出現する。私が診療した患者さんは、コーヒーと栄養ドリンクとサプリメント錠を全て使用して具合が悪くなった。１つ１つに含まれることが分かっていても、合計摂取量が多くなることに気がつかない場合が多いそうだ。

糖入りの飲み物は控え、カフェインは高校生以上からが良い。過剰摂取には大人も注意が必要だ。

「疾病予防・早期発見・早期治療」

学校歯科医　　谷口　伸張

新型コロナ感染症のパンデミックが発生して既に２年の歳月が経過しましたが、未だに終息せずに昨今は、新たな変異株「オミクロン」による第６波が懸念されています。感染の倍加速度がデルタ株の倍以上とのことです。予防ワクチン接種者にもブレークスルー感染しますが、今のところ発症する人は少なく症状が出ても軽症とのことで、安堵しています。新型コロナウイルスの変異株の名称は、ギリシャ文字のアルファベットです。１２番目の「ミュー」まで確認され次は「ニュー」「クサイ」と順当なら続く予定でしたが、「クサイ」は中国の習近平国家主席の姓である「習」の英語表記「XI]と同じため飛ばされたと言います。WHO が、中国へ配慮した形です。

ブレークスルー感染予防のために、ワクチンの追加接種が急がれています。抗体カクテル療法や数種類の治療薬が緊急に認可され使用されているみたいですが、効果の程は分かりません。薬物ですから副作用があります。完治しても後遺症に悩まされているとの報道もよく聞かれます。後遺症は、脱毛、味覚や臭覚異常、倦怠感や関節や筋肉痛などの全身症状、不眠や頭痛などの精神神経症状、咳や痰などの呼吸器症状、下痢や腹痛などの消火器症状など多岐多様です。就労にも支障が出て困窮しておられる方もおられます。従って、感染予防し罹患しないことが最重要です。生憎、不幸にも感染してしまっても、抗体カクテル療法で早期に治療すれば後遺症も少なくて済みますので感染が危惧されれば即、検査して早期発見、早期治療が、必要です。

コロナ禍で感染を避けるために、その他の疾病の治療や健康診断を控えて重篤化する事は回避されなければなりませんし、在ってはならない事です。歯科でもかなり重症になられてから来院する患者さんが増加しています。基本に返り病気に対峙しなければなりません。重要なのは疾病予防、早期発見、早期治療です。

健康・食教育に寄せて

「妙高市のフッ化物洗口の歩み」

学校薬剤師　　吉澤　光弘

皆さんは国内のフッ化物洗口の歴史はご存じでしょうか？

実は新潟県が発祥で1970年（昭和45年)、弥彦村の小学校で実施されたのが最初です。妙高市では昭和50年代初期に妙高高原地域において行政や保護者代表と学校歯科医･学校薬剤師が協力し「妙高高原こどもの歯を守る会」が発足し妙高高原地域の保育園と小・中学校でもフッ化物洗口が始まりました。同様に新井地域・妙高地域でも活動が行われ現在に至っています。

活動の成果は「ほけん妙高」で報告されている通り「新潟県よい歯の学校・園運動」で妙高市内の学校・園が毎年表彰を受けています。

現在は、う蝕予防医薬品の「オラブリス」が用いられるようになりましたが、数年前までは試薬（試験用の薬品）としての「フッ化ナトリウム」を厚生労働省の「フッ化物洗口ガイドライン」に従い学校歯科医の指示により学校薬剤師が一回分量ごと計量し養護教諭の先生や園職員による正確な希釈・洗口が実施されていました。試薬の安全な使用に関して様々な議論や法律の解釈などありましたが洗口目的の有害事象は報告されていません。

新潟県の１２歳児の虫歯の少なさは全国トップクラス（2021年時点で13年連続第一位）です。その健康な歯を維持することが大切で「８０２０運動（80歳になっても20本以上自分の歯を保とう)」を目標に高齢でも自分の歯を保つことが健康維持の基礎になります。

妙高市でフッ化物洗口が始まってからもう少しで50年になります。是非、子供たちと虫歯予防だけでなく健康な歯の維持についてもお話ししてみてはいかがでしょうか。

「私の子育てで守ってきたこと」

総合支援学校　校長　　石﨑　隆

私の子育てで守ってきたことは、むし歯がなくとも、歯の定期健診を年間２回実施することです。

私の子どもの頃は、歯が痛くなってから歯科に行きました。そのため、歯科での治療は、子どもながらに非常につらい思い出です。我が子には、乳歯・永久歯に関わらず、むし歯を防ぎながら成長して欲しいと考えました。また、子育てに関わることですので、夫婦で話し合いをし、子どもたちの歯を守ることについて同じ方針で協力するようにしました。

おかげさまで、子どもたちは成人した今でも、自主的に歯科の定期健診を継続してくれます。歯は、一度傷ついたり失ってしまったりすると自分の歯を取り戻すことができません。私も年間２回の歯の定期健診を習慣付けるようにしました。今では、歯科に行くことは怖くありません。むしろ自分の口の中や歯の健康状態を確認するチャンスと思うことができるようになりました。今後は、体の健康を長く維持するためにも、丈夫な歯で好き嫌いなく何でも食べることができるように自分の歯を守っていきます。

現在、子育てに取り組まれている保護者や教職員の皆様には、家族全員の健康を守る土台として、歯の定期健診をされることを強くお勧めします。妙高市の子どもたちが、食べたいものを食べたい時に食べることができる楽しみをいつまでも感じることができることを望んでおります。

最後に、妙高市の子どもたちのためにご尽力いただいている関係者の皆様に深く感謝するとともに、地域を担う子どもたちの健康を守るためにこれからもご協力くださいますようお願い申し上げます。

健康・食教育に寄せて

「笑顔のために」

新井小学校　保健主事　金子　謙太郎

先日、担任している６年生の学級写真を撮影している時、子どもたちは、久々にマスクを外し、レンズに向かって満面の笑顔を見せた。その様子を眺め、「マスクの下にはこんなに素敵な笑顔があったのか」と改めて眩しさと心地よさを実感した。互いに微笑み合う姿が大変楽しそうだった。

ところで、日本人の平均寿命は男性 80.9 歳・女性 87.1 歳、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は男性 72.1 歳・女性 74.7 歳（2016 年）である。自分は、これらの寿命に寄与する取組と悪影響の取組をどの程度しているのだろうか。列挙してみた。

〇健康によいと信じて取り組んでいること。

・睡眠前後の水飲み　・入浴後のストレッチと筋トレ（30 分程）　・７時間半睡眠
・毎日ヨーグルト　・サプリメント摂取　・昼休みサッカー　・週末ジョギング（２～10 ㎞）
・年数回のロードレース、トレランエントリー（2～24 ㎞）　・年数回の 50m プール水泳
・年数回のクロカンスキー　・年数十日のアルペンスキー　・エスカレーターより階段

Δ健康によくないと知りながらやめられないこと。

・休肝日ほぼなし　・昼食大盛り　・デザート大好き

これでも、健康のための取組が悪影響を上回っている事実は、自己肯定感を高めてくれる。

一方で、笑顔（笑い）には、免疫力を高める、エイジング等の効果があると、様々報告されている。そこで、健康のための取組に笑顔も加えてはどうだろうかと考えた。「笑顔で健康で長生きするために笑顔」。これを取組に追加しながら、結果的に２つの寿命差を埋め、少しでも制限されることのない日常生活を長く過ごしていきたいと願う。マスクという制限が解除され、子どもたちのような満面の笑顔で笑い合える日を待ち望みながら、今できる取組を笑顔で頑張りたいと思う。

「妙高市教育研究会 養護教諭部会の取組」

新井中央小学校　養護教諭　土屋　史子

現在，養護教諭の職務は，健康教育・感染症予防・環境衛生・組織活動・相談活動・救急処置・健康診断・保健室運営・地域連携の９項目に整理され，その内容は多岐に渡る。その上，学校が抱える問題が複雑多様化し，養護教諭に期待される役割は増加，さらに開放教育制，１校に１人という職場環境，年齢構成の偏りによる問題もある。そのような中，養護教諭は１人１人の子どもに寄り添い，将来的な健康の保持増進を目標に掲げ日々奮闘している。

子どもの健康支援は，母子手帳の交付から始まり，入学前のお子さんに対しては保健師が健康支援の中心を担っている。地域と学校が連携する途切れないサービスが理想であるが，現実に行われている市町村は少ない。妙高市では，学校で行われる相談活動に５年前から保健師・栄養士に参画いただき，途切れない支援に取り組んでいる。地域に詳しい専門職と定期的に話し合いの機会があることは，相談活動を超えた実りがある。例えば，地域の情報を共有することで健康課題を把握することができる。また，支援策について意見交換することにより新しい気づきがある。しかし，養護教諭にとって相談活動は，正しい知識理解と判断力，対応力が求められる難しい職務であり困難感が大きい。そのため，今年度からの２か年，相談活動の研修を行うこととした。１年目の今年は，養護教諭の困難感を共有化し，主体的に相談活動を行うためのシートを作成した。実際にシートを使用，修正し来年度シートの完成を目指す。このことが，子どもたちの健康の保持増進，養護教諭の資質能力の向上，困難感の軽減につながると考える。

学校保健会　健康習慣づくり講座

「元気いっぱい　未来かがやく　妙高っ子」

～体を動かして、健康習慣づくりを学ぼう！～

講師 スポーツメディア株式会社 ほっとアリーナ妙高高原
北口 賢太郎 様　　駒村 鮎美 様

新井小学校６年生の児童を対象に、運動遊びを通して体を動かす楽しさや大切さをご指導いただきました。

１　線おにごっこ　〈体を温めるためのウォーミングアップ〉

○ バランス力、体幹、平衡感覚が鍛えられる。

【やり方】

体育館に引いてある各種ライン上のみを使用して「おにごっこ」をする。

①　児童は、体育館に引かれたライン上に乗る。

②　おに役の児童は、ボールを持って逃げる相手を追いかける。ボールでタッチ(ボールは投げない)された児童は、おに役を交代する。

＊移動するときは、線をジャンプでまたがず、曲がり角もしっかりと曲がる。

２　リフティング

○ 全身運動、普段使わない体の部位を動かすことができる。

【やり方】

ビニール袋に空気を入れ、風船のようにして体のいろいろな部位を活用しながら「リフティング」をする。

①　ビニール袋に空気を入れて結ぶ。

②　体の各部位を使って、空気の入ったビニール袋をリフティング

手のひら　→　手を横に交差
→　手の甲　→　肘　→　肩
→　大腿部　→　足の甲　→　足の裏
→　グーパンチ　→　頭でヘディング

３　転がしドッジボール

〇　反射神経、手元のバランス調整が鍛えられる。得手不得手、男女差、腕力差なく少人数で実践できる。

【やり方】

ボールを投げずに、転がして相手にあてるドッジボール

①　数人でグループをつくり、円を作る。

②　円の外にはボールを転がす児童、残りの児童は円の中に入り、ボールにあたらないよう動く。

③　途中からボールを追加したり、中と外の児童を入れ替えたりする。

指導者よりご指導

〇運動が苦手な子どもにも、遊びを通した運動により体を動かして楽しんでほしい。
〇運動はつらいだけでなく、楽しみながら実践する。
〇いろいろな遊びを考えるアイデア、今までやったことがない遊び、身近な物を取り入れ、家でも手軽にできる運動を工夫することが大切である。
〇子どもにとっては遊び感覚の運動が、教師にとっては子どもにつけさせたい力につながっていることが望ましい。

【参加した６年生の声】

〇普段使用しないもの（ビニール袋）を使って遊ぶことができて楽しかった。
〇転がしドッジボールがいつものドッジボールとは違い、楽しかった。
〇普段あまり体を動かさないので、じわじわと体が温まる感じがした。
〇体育やバスケットボール遊びとは違った体のいろいろな部分を動かした感じがして気持ちがよかった。

【参観者の声】

〇身近な物（ボールや体育館に引かれたライン）を使った運動遊びですぐに取りかかれると思った。運動があまり好きでない子どもも楽しみながら体を動かせる内容で参考になった。
〇休み時間の遊びや家の中でも手軽にできそうな運動実践があり、親しみやすく、とてもよかった。おたよりや子どもの委員会活動を通して校内でも紹介したいと思う。
〇体を動かすことに苦手意識がある子どもでも取り組める活動ばかりでよかった。運動能力に関わらず、遊びの延長として活動を仕組めるように考えていきたい。

我が校の実践

たくましい身体と基本的な生活習慣を身に付ける子の育成

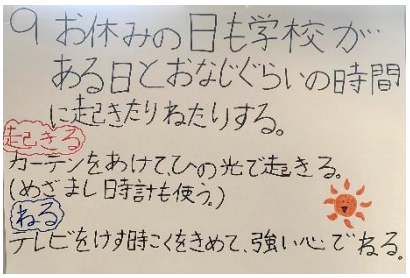
妙高高原北小学校　養護教諭　小村　綾佳

本校は、「豊かな心　自ら学び　たくましく」の教育目標のもと、「たくましい身体の育成と生活習慣の定着」を目指し教育活動を進めている。また、望ましい生活習慣の定着に向けて、学校生活や家庭生活にはたらきかける活動の呼称を“すこやか”に統一している。今年度は「基本的生活習慣を身に付ける子の育成」に重点をおき、家庭や地域社会と連携しながら、次のような取組を中心に活動している。

具体的な取組内容

（１）「すこやかウィーク」の実施

望ましい生活習慣を身に付けるために、妙高高原地区では年２回の「すこやかウィーク」（生活習慣強調週間）を実施している。強調週間では、自らの健康課題の達成に向けて、すこやかチャレンジカードを活用している。家族の中からスペシャリストを設定して、話を聞いたりインタビューをしたりし、すこやかチャレンジカードを保護者にも点検・確認してもらうことで、保護者と連携しながら継続的に取り組むことにつながっている。また、生活集会において、同じ課題を選択した仲間で話し合いを行うことで、より多くの情報を吸収し、仲間とともに自己の課題に対して具体的な手立てを考え、実践に役立てる場としている。



（２）「健康習慣チェック」の実施

強調週間に合わせ、年２回の健康習慣チェックを実施している。１回目は生活の振り返りと自らの課題の設定、２回目は強調週間を経た後の生活の振り返りと評価を行っている。強調週間をきっかけに、日頃の生活習慣を見直し、継続して望ましい生活習慣を意識し実践できるよう取り組んでいる。

（３）「すこやかリズムプロジェクト」「めざせ！たくましい自分」等研修会の実施

地域の子供が健康習慣の向上や健康課題に向けてみんなで取り組もうという意欲や一体感をもつことを目標として、健康・環境委員会の児童がこども園に出向いて行う啓発活動を、毎年行っている。中学校区の合同学校保健委員会では、「めざせ！たくましい自分～よりよい生活習慣を作り上げよう～」をテーマに年２回の研修会を実施し、ＰＴＡ役員と共に保護者と児童（こども園と小学校１・２年、小学校５・６年と中学校１年）が一緒に学ぶ場を設定している。より実態に即した課題で研修を行い、学校や家庭で実践につながる内容を設定している。

我が校の実践

健康な体づくりに取り組む子を目指して

新井小学校　養護教諭　髙木　千春

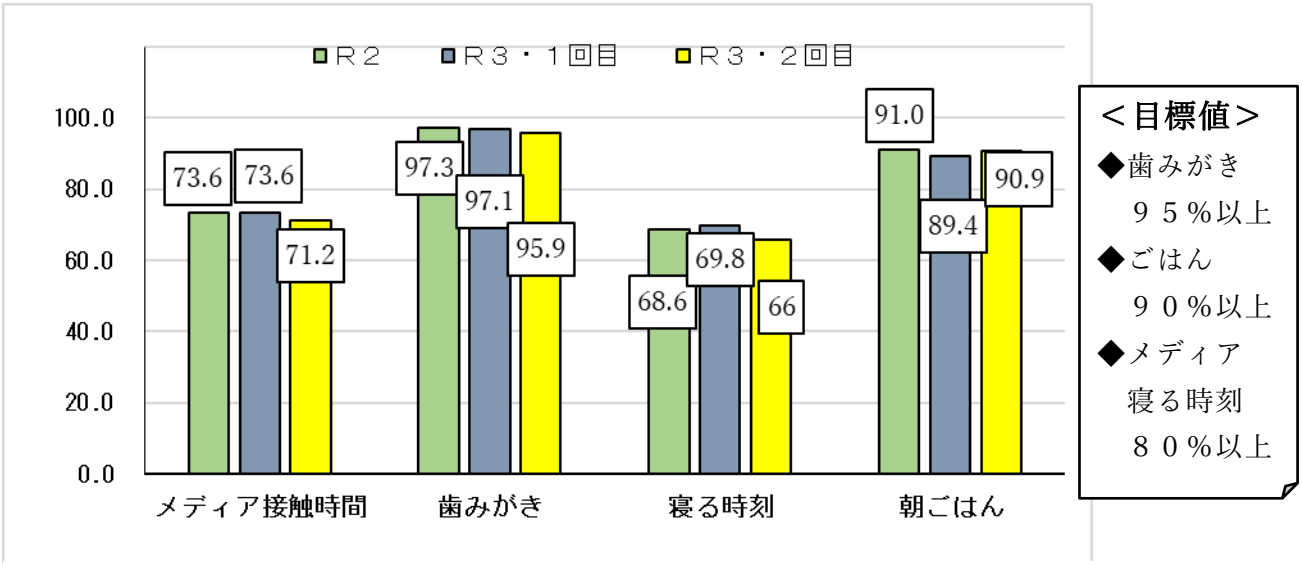
新井小学校は、「よい子　つよい子　できる子」を教育目標に、豊かな心・たくましい体・確かな学力が定着した子どもの育成を目指して活動している。体育授業や遊びの充実による体力向上、家庭との連携によるスクリーンタイム管理と望ましい生活習慣の定着、学年に応じた食育指導の充実など、学校生活全体を通して学校保健活動を推進している。

具体的な取組内容

（１）年３回の「あらいっ子週間」の実施

妙高市が推進する「朝！元気スタート運動」に合わせ、スクリーンタイム管理強調週間を主眼に年３回新井中学校区の園・小学校・中学校で同一期間に実施している。中学校のテスト前期間に設定し、家庭との連携による正しい生活習慣の定着を図っている。

新井小では「あらいっ子週間」として取り組んでいる。「メディア接触時間２時間まで」、「寝る時刻を守る」が目標値を下回る結果となっている。家庭と連携し、今後も取組を続けていく。



（２）環境を整える活動　　＜感染症対策を兼ねて＞

新型コロナウイルス感染症対策のため、学校生活・活動を制限しなければならない状況となっている。その中でも、健康的な生活が送れるように、児童・職員みんなで環境を整える活動を行っている。その一部を紹介する。

学期末に自分の靴棚をきれいにします。

保健委員会の活動でも、石けん液の補充や密を防ぐ足型を貼って、感染予防対策を行っています。

スクールサポートスタッフさんも、休み時間終了後に消毒を実施しています。

〈令和3年度〉

妙高市学校保健会会員

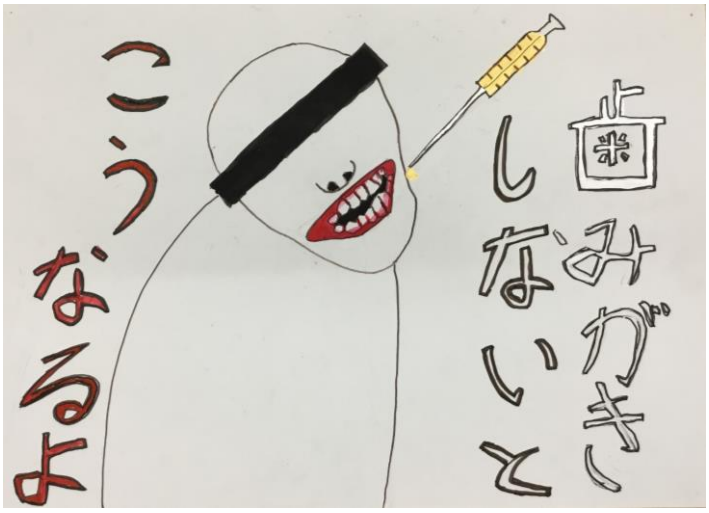
校・園	所属長・代表	学校内科医	学校歯科医	学校薬剤師	保健主事	養護教諭	栄養教諭 栄養士	保健担当者
新井小	江口克也	早津邦広 小川直子	●廣瀬和人 谷口伸張 ●藤内典子	笠原あづさ	金子謙太郎	高木千春	小山康子	
斐太北小	飯塚教裕	松岡二郎	●涌井孝幸	●笠原あづさ	江端真由子	江端真由子		
新井南小	加藤佐知子	早津邦広	●池田博康	●笠原義彦	植木　皐	植木　皐		
新井北小	西條敏一	●岡田立平	●内山奈津子	北村聡美	渡辺　楓	渡辺　楓		
新井中央小	村治隆夫	揚石義夫	横尾宗一 永野和久	●増田たか子	土屋史子	土屋史子	池田春美	
妙高高原北小	加藤一穂	岸本秀文	小嶋　基	●丸山智也	小村綾佳	小村綾佳		
妙高高原南小	湯浅昭司	●岸本秀文	小嶋　基	●吉澤美千代	内山智美	内山智美		
妙高小	福保雄成	●松岡二郎	小嶋祥功	●加藤李恵	室橋由貴	室橋由貴		
新井中	村井友明	●丸山明則	涌井孝幸 永野和久 廣瀬和人	●山田映子	伊藤和樹	猪又智子	吉村和代	
妙高高原中	重野準司	岸本秀文	●小嶋　基	●吉澤光弘	依田尚子	依田尚子		
妙高中	宮川高広	松岡二郎	●小嶋祥功	●岡田善博	大日向仁代	大日向仁代	稲垣　彩	
さくらこども園	岩﨑陽子	早津邦広	永野和久	●鈴木　新				宮川美幸
よつばこども園	築田優子	揚石義夫	横尾宗一	鈴木　新				鈴木知美
妙高高原 こども園	田中育子	岸本秀文	小嶋　基	吉澤美千代				古川和子
和田にじいろ こども園	酒井文子	小川直子	内山奈津子	北村聡美				作林美穂
総合支援学校	石﨑　隆	●小川直子	●藤田　一	●寺澤正貴	古川文一	古瀬彩乃		
新井高校	植木　勲	●外山譲二	横尾宗一 ●谷口伸張 池田博康	笠原義彦	田中美恵子	田中美恵子		
教育委員会	江口賢哉							

令和３年度

保 健 統 計

妙高小学校　１年　岡本　彩杜

新井南小学校　５年　酒井　陽人



新井南小学校　６年　長崎　拓海

（令和３年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール入賞作品）

令和3年度　年齢別体位

区　分			小学校						中学校		
年　齢			6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
人数(男)			106	100	136	108	124	127	129	117	117
男子	身長(cm)	市	**117.5**	122.8	127.7	134.1	139.9	**146.8**	**155.1**	**161.7**	**167.6**
		県	117.3	123.6	128.8	134.2	140.2	146.6	153.4	161.5	166.7
		全国	117.5	123.5	129.1	134.5	140.1	146.6	154.3	161.4	166.1
	体重(kg)	市	21.5	24.0	26.6	**31.7**	35.0	39.8	**45.6**	**52.1**	55.1
		県	21.9	24.5	28.4	31.1	35.4	40.0	44.5	50.5	55.5
		全国	22.0	24.9	28.4	32.0	35.9	40.4	45.8	50.9	55.2
人数(女)			94	35.9	115	87	112	112	100	93	109
女子	身長(cm)	市	115.5	121.3	128.4	133.7	**142.3**	**149.3**	**152.4**	154.3	**157.6**
		県	116.5	122.4	128.0	134.9	141.5	148.0	152.3	155.8	156.9
		全国	116.7	122.6	128.5	134.8	141.5	148.0	152.6	155.2	156.7
	体重(kg)	市	20.9	22.8	26.3	30.2	**36.0**	**41.2**	**44.1**	46.2	50.1
		県	21.3	23.9	26.8	30.8	35.0	39.2	43.9	47.9	50.1
		全国	21.5	24.3	27.4	31.1	35.4	40.3	44.5	47.9	50.2

※県・全国平均は令和2年度　　県平均を上回る

<概要>

○身長は、男子は6歳・11歳・12歳・13歳・14歳、女子は10歳・11歳・12歳・14歳で県平均を上回っている。男女の比較では、8歳・10歳・11歳以外の年齢で男子が女子を上回っている。
年齢間の差は、男子は11歳から12歳で8.3cm、女子は9歳から10歳で8.6cmの伸びが最大である。

○体重は、男子は9歳・12歳・13歳、女子は10歳・11歳・12歳で県平均を上回っている。男女の比較では、10歳・11歳以外の年齢で男子が女子を上回っている。年齢間の差は、男子は12歳から13歳で6.5kg、女子は11歳から12歳で4.7kgの増加が最大である。

令和3年度　学年別肥満傾向

（単位　：　人）　**軽度**:標準体重の＋20%～30%未満　**中等度**:＋30%～50%未満　**高度**:＋50%以上

校種	学年	男子						女子						合計		
		在籍数	肥満度			計		在籍数	肥満度			計		在籍数	肥満	
			軽度	中等度	高度	人	%		軽度	中等度	高度	人	%		人	%
小学校	1	106	2	2	0	4	3.77%	94	3	1	0	4	4.26%	200	8	4.00%
	2	99	2	2	0	4	4.04%	108	3	1	0	4	3.70%	207	8	3.86%
	3	136	2	4	0	6	4.41%	115	4	1	0	5	4.35%	251	11	4.38%
	4	108	8	3	1	12	11.11%	87	3	6	0	9	10.34%	195	21	10.77%
	5	124	11	2	0	13	10.48%	112	10	4	0	14	12.50%	236	27	11.44%
	6	127	7	8	4	19	14.96%	112	8	0	1	9	8.04%	239	28	11.72%
	計	700	32	21	5	58	8.29%	628	31	13	1	45	7.17%	1328	103	7.76%
中学校	1	129	8	6	0	14	10.85%	100	4	4	0	8	8.00%	229	22	9.61%
	2	120	8	5	5	18	15.00%	93	1	4	1	6	6.45%	213	24	11.27%
	3	120	7	1	0	8	6.67%	111	4	3	0	7	6.31%	231	15	6.49%
	計	369	23	12	5	40	10.84%	304	9	11	1	21	6.91%	673	61	9.06%

性別		調査数	小学校 肥満傾向児								調査数	中学校 肥満傾向児							
			軽度		中等度		高度		計			軽度		中等度		高度		計	
			人	%	人	%	人	%	人	%		人	%	人	%	人	%	人	%
男子		700	32	4.57	21	3.00	5	0.71	58	8.29	369	23	6.23	12	3.25	5	1.36	40	10.84
女子		628	31	4.94	13	2.07	1	0.16	45	7.17	304	9	2.96	11	3.62	1	0.33	21	6.91
計		1328	63	4.74	34	2.56	6	0.45	103	7.76	673	32	4.75	23	3.42	6	0.89	61	9.06
2年度	市平均		61	4.50	34	2.51	4	0.29	99	7.30		19	2.71	26	3.71	10	1.43	55	7.85
	県平均		5012	4.76	3628	3.44	753	0.71	9393	8.92		2445	4.61	1744	3.29	614	1.16	4805	9.06

男子	軽度	中等度	高度
6歳	1.89	1.89	0.00
7歳	2.02	2.02	0.00
8歳	1.47	2.94	0.00
9歳	7.41	2.78	0.93
10歳	8.87	1.61	0.00
11歳	5.51	6.30	3.15
12歳	6.20	4.65	0.00
13歳	6.67	4.17	4.17
14歳	5.83	0.83	0.00

女子	軽度	中等度	高度
6歳	3.19	1.06	0.00
7歳	2.78	0.93	0.00
8歳	3.48	0.87	0.00
9歳	3.45	6.90	0.00
10歳	8.93	3.57	0.00
11歳	7.14	0.00	0.89
12歳	4.00	4.00	0.00
13歳	1.08	4.30	1.08
14歳	3.60	2.70	0.00

中学校

	軽度	中等度	高度	計
27年度	4.21	3.39	1.05	8.64
28年度	5.29	3.29	0.82	9.40
29年度	5.19	3.54	0.63	9.37
30年度	5.28	2.45	1.03	8.75
元年度	4.34	2.24	1.40	7.97
2年度	2.71	3.71	1.43	7.85
3年度	4.75	3.42	0.89	9.06

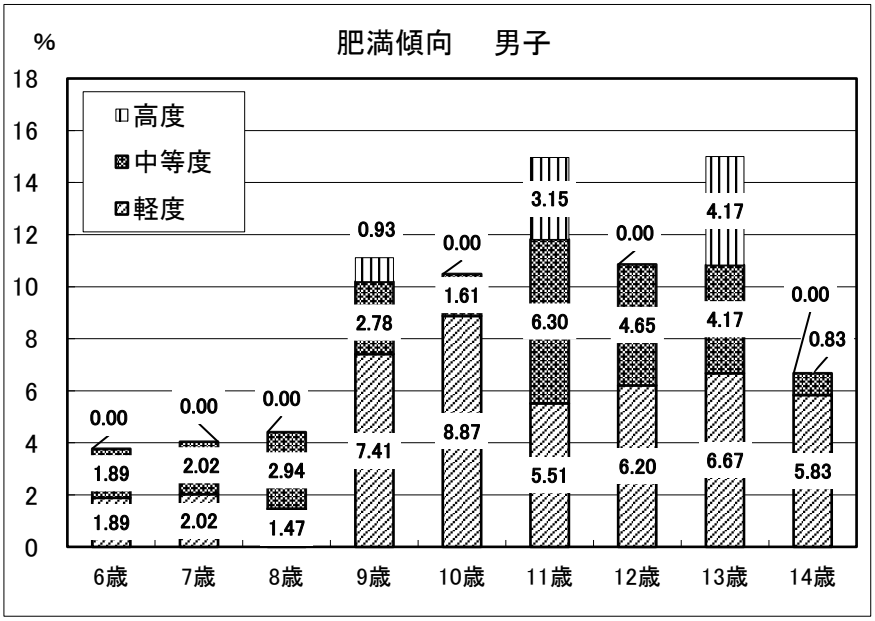
小学校

	軽度	中等度	高度	計
27年度	4.13	2.10	0.39	6.61
28年度	3.72	2.34	0.69	6.74
29年度	3.74	3.12	0.69	7.56
30年度	5.31	2.40	0.66	7.56
元年度	4.51	2.76	0.73	8.00
2年度	4.50	2.51	0.29	7.30
3年度	4.74	2.56	0.45	7.76

	(小) 軽度	(小) 中等度	(小) 高度	(中) 軽度	(中) 中等度	(中) 高度
妙高市	4.74	2.56	0.45	4.75	3.42	0.89
県平均	4.76	3.44	0.71	4.61	3.29	1.16

今年度は 令和 3 年度

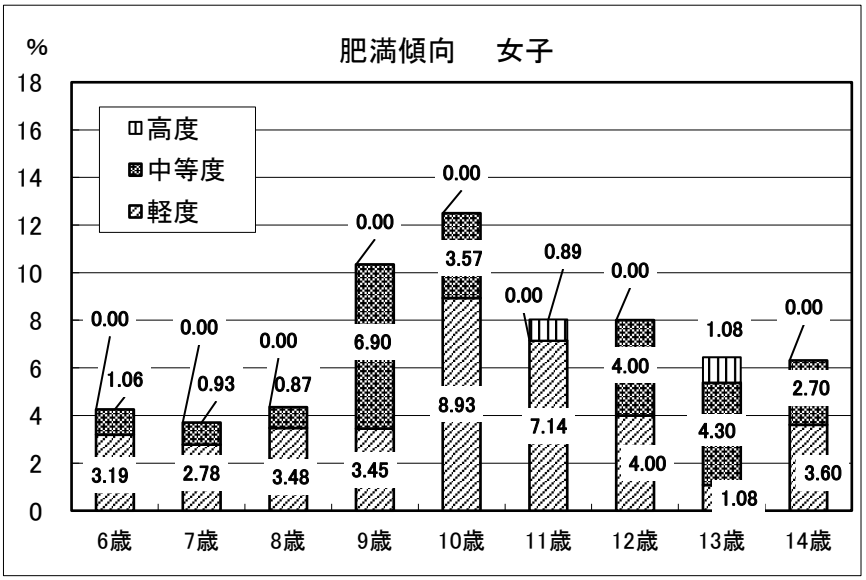
軽度:標準体重の＋20%～30%未満　**中等度**:＋30%～50%未満　**高度**:＋50%以上



＜肥満傾向男子＞

○ 妙高市の6歳から14歳までの値を比較すると、13歳の割合が最も高く、次いで11歳の割合が高い。6歳の割合が最も低く、7歳、8歳の割合も低い。

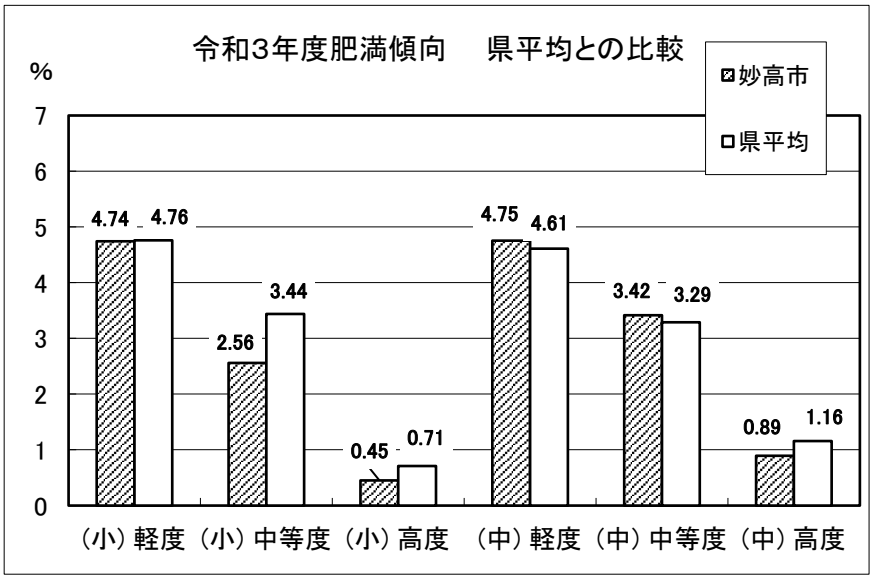
○ 6歳、7歳、8歳、10歳、12歳、14歳では、高度肥満がいない。



＜肥満傾向女子＞

○ 妙高市の6歳から14歳までの値を比較すると、10歳の割合が最も高く、7歳の割合が最も低い。

○ 6歳・7歳・8歳・9歳・10歳・12歳・14歳の高度肥満がいない。

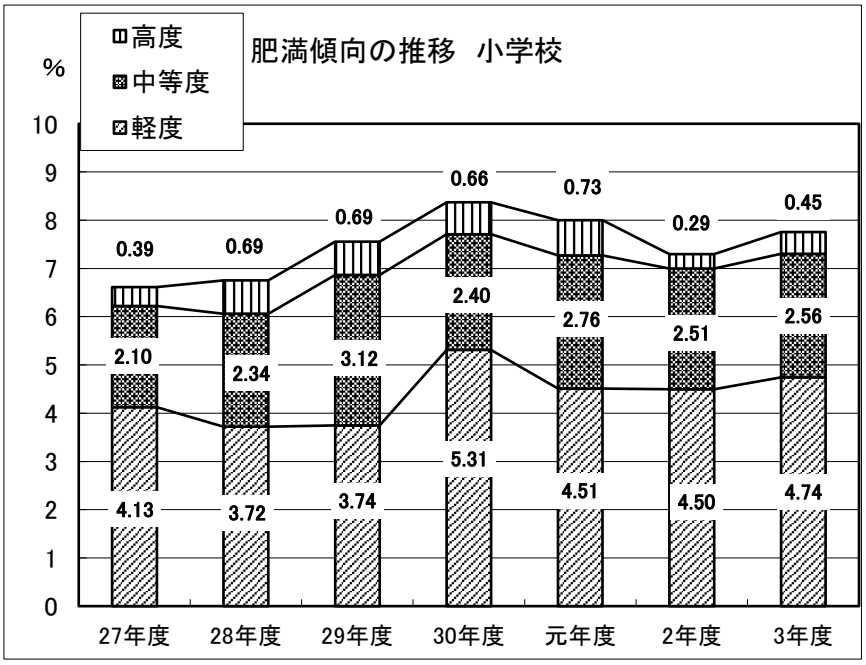


＜県平均との比較＞

○ 中学校の軽度肥満と中度肥満が県平均を上回っている。

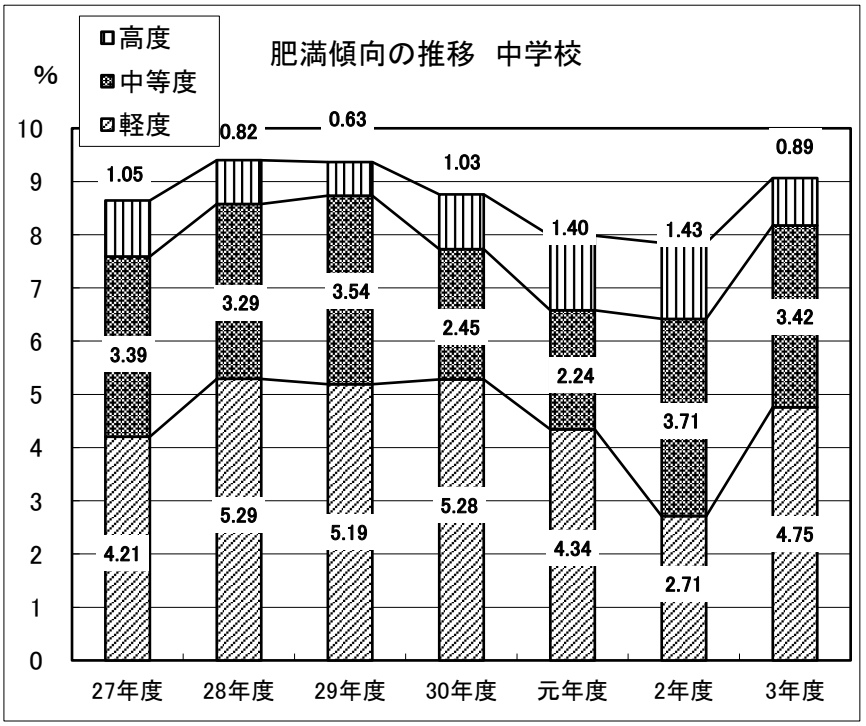
※県平均は令和2年度のデータ

軽度:標準体重の＋20%～30%未満　**中等度**:＋30%～50%未満　**高度**:＋50%以上



＜肥満傾向の推移＞
〈小学校〉

○ 肥満傾向の割合は、27年度から30年度まで増加し、令和元年度以降減少していたが、今年度はまた増加が見られる。



＜肥満傾向の推移＞
〈中学校〉

○ 肥満傾向の割合は、29年度以降、減少していたが、令和3年度で増加が見られる。

別紙調査表　NO.1

児童生徒定期健康診断に基づく疾病調査表

〔小学校〕

市町村名　　妙高市

項目			性別	男子								女子								合計	%
			学年	1	2	3	4	5	6	計	%	1	2	3	4	5	6	計	%		
在籍者数				106	99	136	108	124	127	700		94	108	115	87	112	112	628		1328	
（ ）内は４～６年の在籍数										(359)								(311)		(670)	
1	脊柱側わん症前屈検査異常			調査対象外			0	0	1	1	0.28	調査対象外			1	0	1	2	0.64	3	0.45
2	胸郭異常			0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00
3	目	裸眼視力	0.3未満	3	4	6	7	15	6	41	5.86	0	0	5	5	9	10	29	4.62	70	5.27
			0.3以上0.7未満	9	8	15	19	16	22	89	12.71	3	7	23	15	16	24	88	14.01	177	13.33
		片目異常	0.7以上1.0未満	4	8	10	10	8	8	48	6.86	7	12	13	12	10	7	61	9.71	109	8.21
		も含む	未受検者数	3	1	5	7	12	20	48	6.86	0	3	3	6	18	26	56	8.92	104	7.83
			計	19	21	36	43	51	56	226	32.29	10	22	44	38	53	67	234	37.26	460	34.64
		アレルギー性眼疾		18	12	14	9	26	15	94	13.43	9	6	9	8	13	9	54	8.60	148	11.14
		結膜炎・その他の眼疾		2	3	4	5	2	4	20	2.86	0	2	0	2	5	2	11	1.75	31	2.33
4	耳	聴力異常（両耳とも）		0	0	2	0	0	0	2	0.29	3	3	1	0	0	0	7	1.11	9	0.68
		中耳炎		1	1	0	0	0	0	2	0.29	1	1	1	0	0	0	3	0.48	5	0.38
5	鼻	副鼻腔炎		0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00
		アレルギー性鼻炎		25	22	34	31	46	40	198	28.29	11	11	23	14	25	28	112	17.83	310	23.34
		その他の鼻疾患		6	1	6	1	3	3	20	2.86	3	2	2	1	1	0	9	1.43	29	2.18
6	のど	扁桃肥大		0	0	0	0	1	0	1	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0.00	1	0.08
		へんとう炎		0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00
7	皮膚	アトピー性皮膚炎		6	8	4	5	10	8	41	5.86	4	7	5	5	4	6	31	4.94	72	5.42
		その他の皮膚炎		0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	1	0	1	4	6	0.96	6	0.45
8	喘息	生活規制がある		0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00
		要観察		10	12	12	7	9	7	57	8.14	5	4	4	3	4	2	22	3.50	79	5.95
9	腎臓	生活規制がある		0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00
		要観察		0	0	2	0	1	0	3	0.43	0	0	1	0	0	0	1	0.16	4	0.30
10	心臓	生活規制がある		0	0	0	0	1	0	1	0.14	0	0	0	0	1	0	1	0.16	2	0.15
		要観察		1	1	0	4	0	2	8	1.14	3	2	0	2	0	1	8	1.27	16	1.20
11	尿	尿糖有所見者		0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00
12	四肢の異常			0	0	0	0	0	1	1	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0.00	1	0.08
13	運動機能障害がある			0	0	0	3	0	0	3	0.43	0	0	0	0	0	0	0	0.00	3	0.23

別紙調査表　NO.2

令和3年度

児童生徒定期健康診断に基づく疾病調査表

〔中学校〕

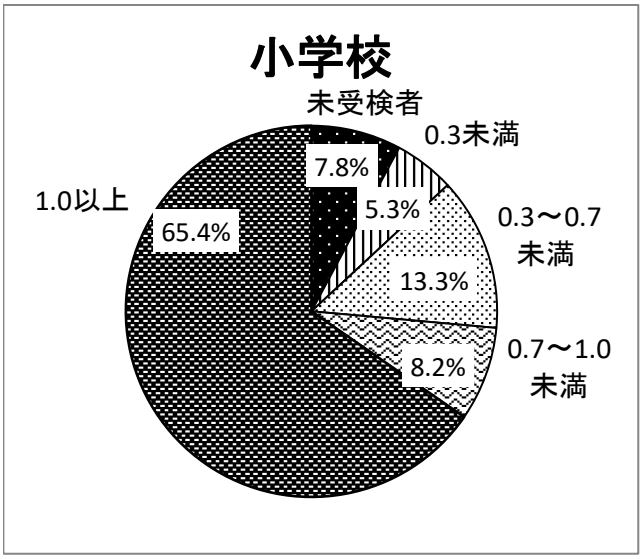
市町村名　　妙高市

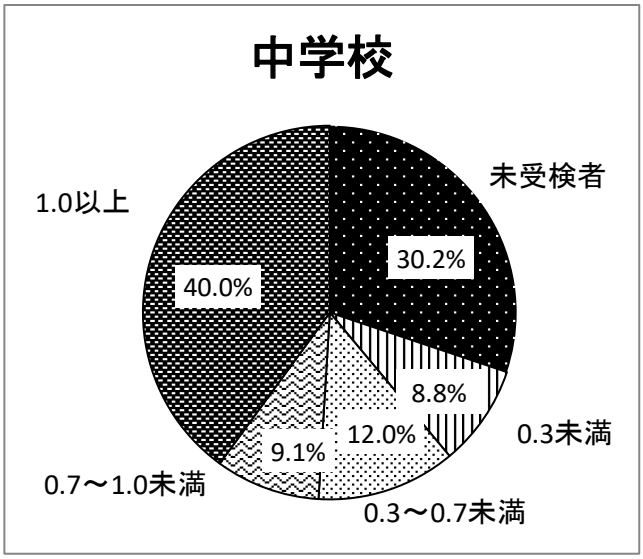
項目			性別	男子					女子					合計	%
			学年	1	2	3	計	%	1	2	3	計	%		
在籍者数				129	120	120	369		100	93	111	304		673	
1	脊柱側わん症前屈検査異常			0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
2	胸郭異常			0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
3	目	裸眼視力	0.3未満	14	13	14	41	11.11	7	7	4	18	5.92	59	8.77
			0.3以上0.7未満	14	14	16	44	11.92	10	14	13	37	12.17	81	12.04
		片目異常	0.7以上1.0未満	13	13	11	37	10.03	7	5	12	24	7.89	61	9.06
		も含む	未受検者数	31	22	38	91	24.66	32	34	46	112	36.84	203	30.16
			計	72	62	79	213	57.72	56	60	75	191	62.83	404	60.03
		アレルギー性眼疾		9	5	2	16	4.34	3	5	2	10	3.29	26	3.86
		結膜炎・その他の眼疾		1	1	0	2	0.54	0	0	0	0	0.00	2	0.30
4	耳	聴力異常（両耳とも）		0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
		中耳炎		0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
5	鼻	副鼻腔炎		4	0	0	4	1.08	0	0	0	0	0.00	4	0.59
		アレルギー性鼻炎		25	13	7	45	12.20	14	11	6	31	10.20	76	11.29
		その他の鼻疾患		18	3	0	21	5.69	10	1	0	11	3.62	32	4.75
6	のど	扁桃肥大		2	0	0	2	0.54	0	0	0	0	0.00	2	0.30
		へんとう炎		0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
7	皮膚	アトピー性皮膚炎		2	0	1	3	0.81	0	4	1	5	1.64	8	1.19
		その他の皮膚炎		0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
8	喘息	生活規制がある		0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
		要観察		1	1	1	3	0.81	1	4	1	6	1.97	9	1.34
9	腎臓	生活規制がある		0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
		要観察		1	3	0	4	1.08	0	2	0	2	0.66	6	0.89
10	心臓	生活規制がある		0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
		要観察		8	7	6	21	5.69	9	4	0	13	4.28	34	5.05
11	尿	尿糖有所見者		0	0	0	0	0.00	0	0	1	1	0.33	1	0.15
12	四肢の異常			0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00
13	運動機能障害がある			0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0.00

令和3年度　学年別裸眼視力

〈小学校〉　　は県平均を上回っている数値

学年	性別	在籍人数	0．3未満		0．3以上 0．7未満		0．7以上 1．0未満		未受検者		合計		2年度
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	県平均(%)
1年	男	106	3	2.83	9	8.49	4	3.77	3	2.83	19	17.92	20.26
	女	94	0	0.00	3	3.19	7	7.45	0	0.00	10	10.64	20.79
	計	200	3	1.50	12	6.00	11	5.50	3	1.50	29	14.50	20.52
2年	男	99	4	4.04	8	8.08	8	8.08	1	1.01	21	21.21	25.47
	女	108	0	0.00	7	6.48	12	11.11	3	2.78	22	20.37	25.80
	計	207	4	1.93	15	7.25	20	9.66	4	1.93	43	20.77	25.63
3年	男	136	6	4.41	15	11.03	10	7.35	5	3.68	36	26.47	30.67
	女	115	5	4.35	23	20.00	13	11.30	3	2.61	44	38.26	35.12
	計	251	11	4.38	38	15.14	23	9.16	8	3.19	80	31.87	32.81
4年	男	108	7	6.48	19	17.59	10	9.26	7	6.48	43	39.81	36.58
	女	87	5	5.75	15	17.24	12	13.79	6	6.90	38	43.68	42.36
	計	195	12	6.15	34	17.44	22	11.28	13	6.67	81	41.54	39.39
5年	男	124	15	12.10	16	12.90	8	6.45	12	9.68	51	41.13	41.98
	女	112	9	8.04	16	14.29	10	8.93	18	16.07	53	47.32	47.37
	計	236	24	10.17	32	13.56	18	7.63	30	12.71	104	44.07	44.63
6年	男	127	6	4.72	22	17.32	8	6.30	20	15.75	56	44.09	45.19
	女	112	10	8.93	24	21.43	7	6.25	26	23.21	67	59.82	52.41
	計	239	16	6.69	46	19.25	15	6.28	46	19.25	123	51.46	48.68
合計	男	700	41	5.86	89	12.71	48	6.86	48	6.86	226	32.29	33.60
	女	628	29	4.62	88	14.01	61	9.71	56	8.92	234	37.26	37.62
	計	1328	70	5.27	177	13.33	109	8.21	104	7.83	460	34.64	35.56



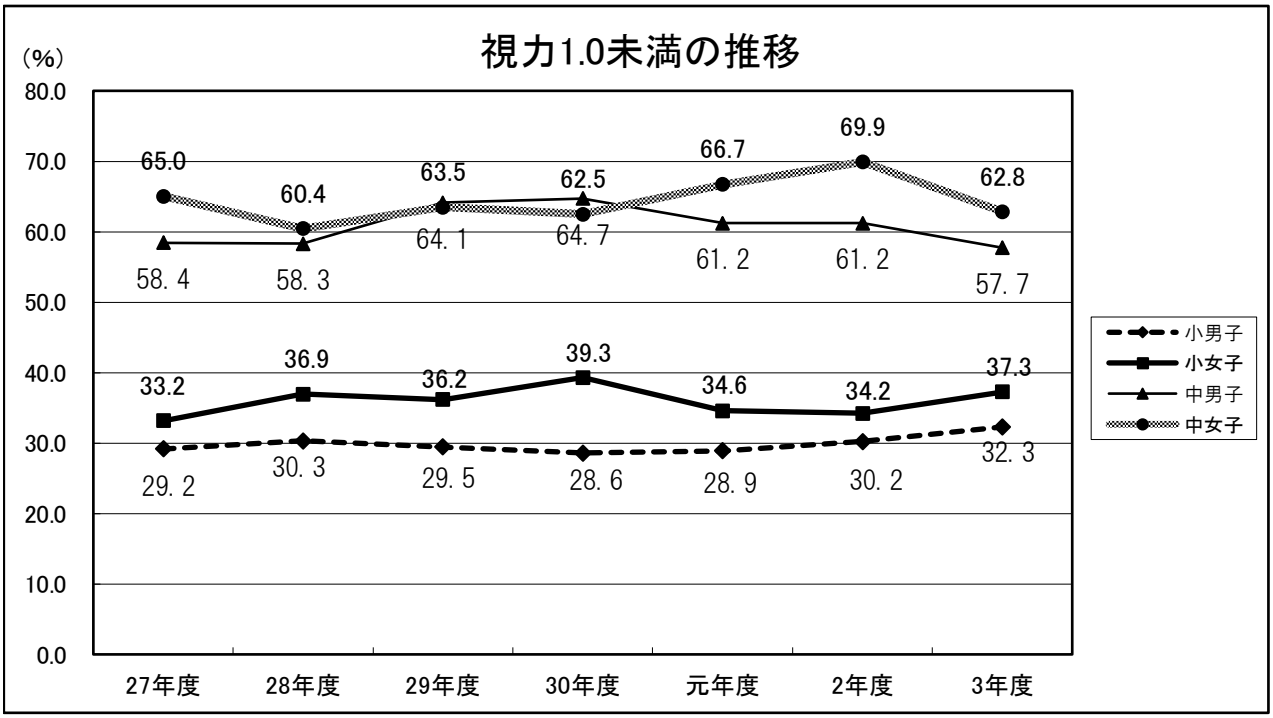


<中学校>　　は県平均を上回っている数値

学年	性別	在籍人数	0．3未満		0．3以上 0．7未満		0．7以上 1．0未満		未受検者		合計		2年度
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	県平均(%)
1年	男	129	14	10.85	14	10.85	13	10.08	31	24.03	72	55.81	51.89
	女	100	7	7.00	10	10.00	7	7.00	32	32.00	56	56.00	59.87
	計	229	21	9.17	24	10.48	20	8.73	63	27.51	128	55.90	55.71
2年	男	120	13	10.83	14	11.67	13	10.83	22	18.33	62	51.67	56.84
	女	93	7	7.53	14	15.05	5	5.38	34	36.56	60	64.52	64.82
	計	213	20	9.39	28	13.15	18	8.45	56	26.29	122	57.28	60.73
3年	男	120	14	11.67	16	13.33	11	9.17	38	31.67	79	65.83	60.70
	女	111	4	3.60	13	11.71	12	10.81	46	41.44	75	67.57	66.86
	計	231	18	7.79	29	12.55	23	9.96	84	36.36	154	66.67	63.69
合計	男	369	41	11.11	44	11.92	37	10.03	91	24.66	213	57.72	56.45
	女	304	18	5.92	37	12.17	24	7.89	112	36.84	191	62.83	63.87
	計	673	59	8.77	81	12.04	61	9.06	203	30.16	404	60.03	60.04

＜概要＞

○小学校では、３年女子、４年男女、６年女子が県平均を上回っている。
○中学校では１年男子、３年男女が県平均を上回っている。
○小学校１・２年生以外は、男子より女子の方が視力1.0未満の割合が高い。
○小学校男子の視力1.0未満の割合が平成27年度以降で最も高い値となった。



令和3年度 児童生徒疾病異常一覧

単位は%、( )内は人数
は県平均を上回っている数値

分類 / 疾病項目		小学校 男	小学校 女	小学校 男女計	小学校 県	中学校 男	中学校 女	中学校 男女計	中学校 県
		700	628	1328	105320	369	304	673	53024
脊柱側弯前屈検査異常		0.28 (1)	0.64 (2)	0.45 (3)	1.00	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	1.60
胸郭異常		0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.06	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.08
目	裸眼視力0.9以下	32.29 (226)	37.26 (234)	34.64 (460)	35.56	57.72 (213)	62.83 (191)	60.03 (404)	60.04
目	アレルギー性眼疾患	13.43 (94)	8.60 (54)	11.14 (148)	2.77	4.34 (16)	3.29 (10)	3.86 (26)	9.71
目	結膜炎・その他の眼疾患	2.86 (20)	1.75 (11)	2.33 (31)	1.43	0.54 (2)	0.00 (0)	0.30 (2)	0.98
耳	聴力異常両耳とも	0.29 (2)	1.11 (7)	0.68 (9)	0.32	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.19
耳	中耳炎	0.29 (2)	0.48 (3)	0.38 (5)	0.14	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.07
鼻	副鼻腔炎	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.68	1.08 (4)	0.00 (0)	0.59 (4)	0.15
鼻	アレルギー性鼻炎	28.29 (198)	17.83 (112)	23.34 (310)	13.46	12.20 (45)	10.20 (31)	11.29 (76)	23.10
鼻	その他の鼻疾患	2.86 (20)	1.43 (9)	2.18 (29)	2.14	5.69 (21)	3.62 (11)	4.75 (32)	1.09
のど	扁桃肥大	0.14 (1)	0.00 (0)	0.08 (1)	0.14	0.54 (2)	0.00 (0)	0.30 (2)	0.08
のど	へんとう炎	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.01
皮膚	アトピー性皮膚炎	5.86 (41)	4.94 (31)	5.42 (72)	7.33	0.81 (3)	1.64 (5)	1.19 (8)	7.76
皮膚	その他の皮膚炎	0.00 (0)	0.96 (6)	0.45 (6)	0.27	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.22
ぜん息	生活規制がある	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.01	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.06
ぜん息	要観察発作がある	8.14 (57)	3.50 (22)	5.95 (79)	4.19	0.81 (3)	1.97 (6)	1.34 (9)	2.46
腎臓	生活規制がある	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.01	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.01
腎臓	要観察	0.43 (3)	0.16 (1)	0.30 (4)	0.39	1.08 (4)	0.66 (2)	0.89 (6)	0.43
心臓	生活規制がある	0.14 (1)	0.16 (1)	0.15 (2)	0.09	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.09
心臓	要観察	1.14 (8)	1.27 (8)	1.20 (16)	1.68	5.69 (21)	4.28 (13)	5.05 (34)	1.70
尿	尿糖有所見者	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.08	0.00 (0)	0.33 (1)	0.15 (1)	0.09
四肢の異常		0.14 (1)	0.00 (0)	0.08 (1)	0.19	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.25
運動機能障害がある		0.43 (3)	0.00 (0)	0.23 (3)	0.11	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.05

※県平均は令和2年度

〈概要〉

○小学校では、「アレルギー性眼疾患」「結膜炎・その他眼疾患」「アレルギー性鼻炎」「ぜん息（要観察）」が、県平均を大きく上回っている。

○中学校では、「その他の鼻疾患」「心臓（要観察）」が、県平均を大きく上回っている。

平成24年度　学校別歯科保健

（よい歯の学校運動資料から）

項目 ＼ 学	永久歯									
	人数について				歯数について					
	学級数	検査を受けた人数 (a)	むし歯のある者 未処置歯 処置歯 喪失歯のいずれか1本以上ある者の数 (b)	有病者率 b/a ×100 (%)	未処置歯総本数 (ア)	処置歯総本数 (イ)	喪失歯総本数 (ウ)	むし歯総数 (ア+イ+ウ)	処置歯率 イ/(ア+イ+ウ) ×100 (%)	1人平均むし歯数 (ア+イ+ウ)/a (本)
新井小	25	444	16	3.6	13	9	0	22	40.9	0.05
斐太北小	8	75	2	2.7	2	1	0	3	33.3	0.04
新井南小	6	50	3	6.0	2	2	0	4	50.0	0.08
新井北小	12	206	12	5.8	4	13	0	17	76.5	0.08
新井中央小	16	311	14	4.5	2	25	0	27	92.6	0.09
妙高高原北小	8	69	11	15.9	2	19	0	21	90.5	0.30
妙高高原南小	7	59	3	5.1	0	8	0	8	100.0	0.14
妙高小	9	110	2	1.8	0	2	0	2	100.0	0.02
市内小学校合計及び平均	91	1324	63	4.8	25	79	0	104	76.0	0.08
新井中	24	498	47	9.4	10	68	0	78	87.2	0.16
妙高高原中	5	71	17	23.9	1	25	0	26	96.2	0.37
妙高中	5	63	4	6.3	0	6	0	6	100.0	0.10
市内中学校合計及び平均	34	632	68	10.8	11	99	0	110	90.0	0.17

令和3年度　歯科保健

項目 ＼ 学校名	永久歯									
	人数について				歯数について					
	学級数	検査を受けた人数 (a)	むし歯のある者 未処置歯 処置歯 喪失歯のいずれか1本以上ある者の数 (b)	**有病者率** b/a ×100 (%)	未処置歯総本数 (ア)	処置歯総本数 (イ)	喪失歯総本数 (ウ)	むし歯総数 (ア+イ+ウ)	**処置歯率** イ/(ア+イ+ウ) ×100 (%)	**1人平均むし歯数** (ア+イ+ウ)/a (本)
市内小学校 合計数及び平均	91	1324	63	4.8 《4.9》	25	79	0	104	76.0 《57.7》	0.08 《0.08》
2年度県平均				5.9					62.6	0.10
市内中学校 合計数及び平均	34	632	68	10.8 《11.5》	11	99	0	110	90.0 《82.5》	0.17 《0.21》
2年度県平均				16.6					71.7	0.39

〈概要〉　　≪ ≫内は前年度の市平均

○昨年度と比較し、小中学校ともに有病者率は低下した。一人平均むし歯数は、小学校は変わらず、中学校は減少した。処置歯率は、小中学校ともに増加した。

○県平均と比較し、有病者率及び一人平均むし歯数は小中学校ともに下回っている。処置歯率は小中学校ともに上回っている。